

2024 年5月 12 日(日曜日)
ライフパーク倉敷 視聴覚ホール
(倉敷市福田町古新田940)

Okayama Prefecture Triathlon Association (OTA)



一般社団法人

岡山県トライアスロン協会

第4回(2023年度)総会

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会(OTA)
〒700-0986 岡山市北区新屋敷町 3-5-15
事務局 TEL:090-5373-8866
e-mail:okym-tri@mx35.tiki.ne.jp
URL: <http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/>

総 会 次 第

1. 開会あいさつ
2. 来賓あいさつ
3. 議長および書記の選任
4. 議案(審議事項)
 - (1) 2023 年度事業報告、決算報告および監査報告について
 - (2) 2024 年度事業計画および予算(案)について
 - (3) OTA 運営体制(案)について
5. 報告事項
 - (1) JTU 社員報告および JTU 中国ブロック協議会報告
 - (2) エイジナショナルチャンピオンシップシリーズの表彰について
6. 閉会あいさつ

司会:一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 長谷川 博三

1. 開会あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 会長(代表理事) 繁田 政男

2. 来賓あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 顧問 衆議院議員 逢澤 一郎 様

3. 議長および書記の選出

議長:

書記:

4. 議案(審議事項)

(1) 2023 年度事業報告、決算報告および監査報告について

【別紙資料①】 2023 年度事業報告

【別紙資料②】 2023 年度決算報告

【別紙資料③】 2023 年度監査報告

(2) 2024 年度事業計画(案)および予算(案)について

【別紙資料④】 2024 年度事業計画(案)

【別紙資料⑤】 2024 年度予算(案)

(3) OTA 運営体制(案)について

【別紙資料⑥】 2024 年度各委員会組織(案)

5. 報告事項

(1) JTU 社員報告および JTU 中国ブロック協議会報告

(2) エイジナショナルチャンピオンシップシリーズの表彰について【別紙資料⑦】

6. 閉会あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 副会長 丸山 彰治

2023年度事業報告 **承認**

1. OTA の状況(事務局)

(1) 会員の登録状況(2023 年度／2024 年度)

OTA/JTU への登録者は、2021 年度まで減少してきましたが、2022 年度、2023 年度と増加しています。ただ、2024年度については今のところ減少の傾向となっています。新型コロナウイルスに関する行動制限等が緩和され、大会の開催が再開されてきていることから、今後、早い段階で会員数を 350 名程度まで回復することを期待しています。この会員数を維持することにより、OTA の運営を安定して継続させることを当面の目標としています。

2023年度会費収入 (JTU会費含む)

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	57	1,000	57,000	4,000	228,000
一般継続	70	1,000	70,000	3,000	210,000
団体新規	33	500	16,500	4,000	132,000
団体継続	86	500	43,000	3,000	258,000
高校生	1	300	300	1,200	1,200
中学生	1	100	100	900	900
小学生	0	100	-	400	-
審判限定	6	-	-	2,000	12,000
合計	254		186,900		842,100
					1,029,000 JTU+協会

2023年度中国ブロック会費、分担金

登録区分	人数	ブロック会費	ブロック会費計	団体分担金	計
2022年度一般会員	199	200	39,800	10,000	49,800
中国ブロック選手権大会(さくらおろちスプリント) 分担金					50,000
					99,800

2024年度会費収入 (JTU会費含む)

2024年5月7日登録承認まで

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	50	1,000	50,000	4,000	200,000
一般継続	85	1,000	85,000	3,000	255,000
団体新規	13	500	6,500	4,000	52,000
団体継続	85	500	42,500	3,000	255,000
高校生	0	300	-	1,200	-
中学生	0	100	-	900	-
小学生	0	100	-	400	-
審判限定	3	-	-	2,000	6,000
合計	236		184,000		768,000
					952,000 JTU+協会

(2) 団体登録チームの状況(2023 年度／2024 年度)

2023年度、2024年度団体登録チームについて

2024年5月8日現在

団体登録チーム名	代表者名	2023年度	2024年度	
岡山アイアンマントライアスロンクラブ	大和 信彦	7	7	書面
Bon Vivant	宗定 敏文	10	9	
アミーゴ倉敷トライアスロンクラブ	丸山 彰治	14	12	
津山トライアスロンクラブ	見世 幸夫	0	0	書面
チームままかり	中尾 信夫	8	5	
東雲爆走隊	奥田 茂	4	1	
チームウェーブ	原田 恭雄	30	31	
三菱ケミカルトライアスロンクラブ	日下 一正	7	8	
No Limits	由淵 真	0	0	
ち～む☆のざき	岩崎 功	7	7	
児島AC	田中 泰志	10	6	
SBR Phoenix	井上 朗弘	4	4	
アスランクラブ	宇野 真理子	0	0	
TEAM BLUE DOG	山本 温	18	12	
合計		119	102	

※ 審判限定会員は含んでおりません。

※ 団体登録とは、岡山県在住の代表者のもと、岡山県協会正会員5名以上で構成される団体で、団体単位で登録(岡山県協会、JTU)することを言います。

※ 新規で団体登録を希望される団体の代表者の方は、岡山県協会事務局まで、ご連絡・お問合せください。

※ 2024年度の登録において、JTU登録システムの不備のため団体登録者の集計が完全なものではありません。ご了承をお願いいたします。

- 2025 年度登録より、すべてのチームが Web 登録に移行する予定です。
- 審判限定会員は含んでおりません。
- 団体登録とは、岡山県在住の代表者のもと、OTA 正会員 5 名以上で構成される団体で、団体単位で登録(OTA、JTU)することを言います。
- 新規で団体登録を希望される団体の代表者の方は、OTA 事務局まで、ご連絡・お問合せください。
- 皆生大会への出場推薦:2024 年大会 SBRPhoenix
-

(3) 審判員資格保有者(技術・審判委員会)

JTU 審判員(第 1 種)	女子	<u>0 名</u>	男子	<u>4 名</u>
JTU 審判員(第 2 種)	女子	<u>6 名</u>	男子	<u>15 名</u>
JTU 審判員(第 3 種)	女子	<u>7 名</u>	男子	<u>34 名</u>
WT TO(レベル 1)	女子	<u>0 名</u>	男子	<u>1 名</u>
WT TO(レベル 2)	女子	0 名	男子	0 名

上記、JTU 審判員資格の更新については、有効期限内(4年間)に更新講習の受講が必要です。更新講習は、例年 8 月および3月に開催しておりますので、受講をお願いいたします。また、審判員として活動を行うためには、JTU 登録(審判限定会員を含む)が必要です。

先日、審判員資格をお持ちの方にアンケートを行った結果、有効期限を超過し失効されている方や、JTU 登録を行っていない方が少なからず存在しており、今後の大会運営等に際し、審判員が不足することが憂慮されます。審判員資格を失効されている方につきましては、更新講習を受講し、JTU 登録を行うことにより資格の回復を行っております。

(4) 指導者資格保有者(指導者委員会)

JTU 公認初級指導者	3 名 (制度変更のため、専門科目に移行する)
JTU トライアスロン専門科目	0 名 (初級・中級保持者が移行し、さらにコーチ 1 に移行する)
JSPPO アシスタントコーチ	1 名 (2021 年度より新設)
JSPPO トライアスロンコーチ 1	12 名 (うち、女性 2 名)
JSPPO トライアスロンコーチ 3	0 名 (2022 年度より新設、ワールドクラスコーチ)

- 国民スポーツ大会の監督については、JSPPO トライアスロンコーチ 1 あるいはコーチ 3 の資格が必要です。
- JSPPO の資格の維持につきましては、JSPPO の「指導者マイページ」や資格更新の案内をご確認ください。
- 資格更新に必要な講習については、(公財)岡山県スポーツ協会で開催されるもの、および、JTU が主催で開催されるものについては、情報提供を行っております。
- 2024年度、岡山県において JTU トライアスロン専門科目の講習会を開催します。(時期等調整中)

2. 普及委員会／指導者委員会

(1) 県内関係大会開催の状況

2023 年度は、新型コロナウイルスの第 5 類への移行を受けて、デュアスロン in しんごう、倉敷ジュニアトライアスロン、倉敷国際トライアスロンの各大会が開催されました。開催の間隔が空いた影響が大きいと思われますが、各大会ともエントリーの状況が芳しくありませんでした。各大会とも大きな事故もなく、大会を終えることができました。

(2) おかやまスポーツフェスティバル(2024年3月3日開催)への参加

(公財)岡山県スポーツ協会主催のおかやまスポーツフェスティバルにおいて、展示、体験会(エア・トライアスロン)を実施しました。小学生を中心に200名以上の来場があり、トライアスロン競技の PR を行いました。(スタッフ:審判員等7名)

(3) なださきデュアスロンの計画

OTA 所属選手の大会出場の機会の創出とドラフティング講習会の実施、また、審判員の技能向上を目的として、デュアスロン大会等について、クローズドサーキットである、なださきレークサイドパーク(岡山市南区)を会場に、2024 年 3 月 10 日の開催を予定しておりましたが、諸般の事情で中止しました。

(4) 指導者派遣事業

2023 年度よりスタートができませんでした。

3. 技術・審判委員会

(1) 審判員等の派遣(県内および県外)

日程	大会名称等	人数
5/20~5/21	さくらおろち湖スプリント／中国ブロック選手権／岡山県国体予選(島根県)	7名
6/2~6/3	愛南トライアスロン(愛媛県)	5名
6/17~6/18	はつかいち縦断みやじまトライアスロン(広島県)	6名
7/8~7/9	デュアスロン in しんごう	20 名
7/15~7/16	全日本トライアスロン皆生大会(鳥取県)	7 名
8/19~8/20	さぎしまトライアスロン(広島県)	4 名
8/20	倉敷ジュニアトライアスロン(ボランティア)	13 名
8/26~8/27	さくらおろち湖トライアスロンフェスティバル(島根県)	4名
9/2~9/3	サンポート高松トライアスロン(香川県)	6名
9/2~9/3	日本学生選手権観音寺大会(香川県)	4名
9/9~9/10	倉敷国際トライアスロン(県内:29名、県外:20名)	49 名
9/16~9/17	福山かわまちトライアスロン(広島県)	5名
24/3/20	JTU 認定記録会岡山会場(岡山市)	9名

(2) 審判員の育成

8月13日(日)にJTU公認審判員資格講習会を開催しました。

3種更新:1名。3種新規:2名 継続更新、新規取得となりました。

3月10日(日)にJTU公認審判員資格講習会を開催しました。2種更新:2名、

3 種更新:5名 継続更新となりました。

毎年 3 月第一日曜日に審判講習会を開催するので新規取得者歓迎いたします。

会員の皆様よろしくお願いいたします。

(3) JTU セミナー等への参加(Web セミナー)

1月14日 トライアスロン・パラトライアスロン Technical Official セミナー (参加者3名)

4. 強化委員会

(1) 国体選手の選考、選手／監督等の選考

2023 年 5 月 21 日(日)に国体予選会を開催(JTU 中国ブロック選手権／さくらおろち湖スプリントトライアスロン大会)し、岡山県代表選手を選考しました。エントリーは男子3名(1 名 DNS)、女子2名(1 名 DQ 扱い)でした。監督およびトレーナーについては、実績を基に有資格者から選考しました。選考結果については、6 月度合同会議および理事会で承認をうけ、国体へ派遣しております。

成年女子 選手:木下遥奈、監督:溝手珠央

成年男子 選手:中山雄貴(ふるさと)、高橋正俊(ふるさと)、監督:丸山彰治

トレーナー 河本勝成(もずがはな整骨院)

(2) 燃ゆる感動かごしま国体

10 月8日に、徳之島天城町、天城町特設トライアスロン会場で開催され、(1)項の岡山県選手団を派遣しました。経費の詳細は【別紙資料②-2】の通りです。トレーナーの派遣については、ハイパフォーマンス支援事業の補助金を執行しております。また、レース結果は以下の通りでした。

成年女子 木下遥奈(49 位)、皇后杯得点 10 点

成年男子 中山雄貴(27位)、高橋正俊(37位)、天皇杯得点 10 点

(3) 強化指定選手(OTA)

今年度の強化指定選手は、木下遥奈選手(国体)、中山雄貴選手(国体)、高橋正俊選手(国体)でした。強化費は、中山選手の中国リージョン合宿の参加補助として執行しております。

(4) 強化指定選手(岡山県オリンピック育成事業補助金)

今年度、安藤勘太選手(流通経済大学)を推薦し、強化指定選手に認定されました。強化費(150,000 円)は、安藤選手のトレーニング機器購入費用の一部として執行しました。(自己負担あり)

(5) JTU 認定記録会の開催(強化費補助金)

2024 年3月20日(水祝)に、OSK スポーツクラブ岡山プール、および岡山県営グラウンド補助陸上競技場を会場に実施しました。参加選手は6名でした。結果については、JTU の認定記録会のサイトに公表されております。

5. 総務委員会(事務局)

OTA の事務局として総務的な事項全般を行っているほか、JTU、岡山県スポーツ振興課、岡山県スポーツ協会、OHK スポーツ振興財団等との渉外業務も行っております。

(1) 会員登録

JTU の会員登録システムで会員登録の業務を行っています。(資格確認、承認) また、団体登録チームの一部については、書面での受付もしております。

JTU では、2024 年度から、全登録会員(選手・審判員・指導者・役員等)を対象に「トライアスロン安全保険(※)」を自動付帯いたします。この保険は、トライアスロン・アクアスロン・デュアスロン大会などに参加中の事故に対して、年度を通じて適用されます。さらに大会だけでなく、JTU とその加盟団体が主催する記録会や講習会・セミナー・練習会なども対象範囲に含まれます。

※「トライアスロン安全保険」は JTU が登録会員向けに加入を行うスポーツ安全保険の呼称です。

(2) 会計業務

OTA 会計およびジュニア大会会計の出納を行っています。

(3) 会議運営

総会(1 回／年)

理事会(4 回／年)

理事会・委員会合同会議(毎月)

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会(基本毎月)

(4) 情報発信

OTA Web サイト <http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/>

倉敷ジュニア公式 Web サイト http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/kurashiki_jr/

デュアスロン in しんごう公式 Web サイト <http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/shingou/>

facebook <https://www.facebook.com/TriathlonOkayama>

2023年度 岡山県トライアスロン協会 決算報告書

【別紙資料②】

収入の部

	予算額	決算額	差異	内訳
会費	981,500	1,029,000	47,500	会費 (JTU会費を含む) 1,029,000
補助金	1,043,000	1,029,278	▲ 13,722	岡山県スポーツ協会 1,029,278
主催事業収入	400,000	42,500	▲ 357,500	審判講習会 42,500
主管料 大会運営協力金	280,000	435,000	155,000	倉敷国際トライアスロン大会 協力費 105,000 倉敷国際トライアスロン大会 県外審判日当 220,000
賛助会員会費	0	0	0	賛助会員協賛金 0
ジュニア大会参加費	1,575,000	1,052,000	▲ 523,000	ジュニア大会参加費 1,052,000
ジュニア大会協賛金	1,600,000	1,613,538	13,538	ジュニア大会協賛金 1,613,538
雑収入	0	35	35	受取利息 35
収入合計	5,879,500	5,201,351	▲ 678,149	

支出の部

	予算額	決算額	差異	内訳
大会費用	150,000	2,702,943	▲ 151,850	しんこう 114,270 倉敷 251,850 なださきデュアスロン 0 ジュニア大会費用 2,336,823
事務費	30,000	69,082	▲ 39,082	インクカートリッジ、プリンタ修理、封筒他 42,562 事務所引越トラックレンタル、電気工事代 23,770 名刺代 2,750
備品費	35,000	30,297	4,703	tikitikiモバイル接続料 (HP容量追加含む) 18,957 レンタルサーバー12ヶ月 5,238 ビブス 6,102
通信費	34,000	35,037	▲ 1,037	電話代 (2023.4月～2024.3月) 33,921 その他郵送代 1,116
賃借料	82,000	73,550	8,450	事務所倉庫代 (4-12月) 45,000 事務所家賃 (光熱費込) @8000×1-3月 24,000 電気代4月分 615 水道代～4/30まで 3,935
審判旅費交通費	355,000	414,375	▲ 59,375	さくらおろち 20,375 しんこう 19,000 倉敷 118,000 県外派遣費 120,000 開催者会議 (WEB開催) 12,000 開催者会議 (WEB開催) 125,000 その他 0
役員旅費交通費	20,000	0	20,000	開催者会議 (WEB開催) 0 ブロック会議 (WEB開催) 0 その他 0
租税公課	60,000	60,000	0	法人市民税 50,000 登録免許税 10,000
諸手数料	5,000	4,840	160	振込手数料 4,840
会議交際費	30,000	6,881	23,119	総会 3,881 その他 3,000
登録費分担金	391,200	401,700	▲ 10,500	岡山県スポーツ協会 65,000 日本トライアスロン連合 186,900 JTU中国ブロック協議会 50,000 JTU中国ブロック協議会 99,800
主催事業経費	160,000	112,687	47,313	スポーツフェスティバル 33,372 リレーマラソン 19,520 認定記録会 53,475 審判講習会 4,320
選手強化経費	1,527,000	1,211,165	315,835	選手強化 1,030,565 オリリンピック育成事業強化費 (安藤勘太) 150,000 強化指定選手 (中山雄貴) 30,600
雑費	0	17,370	▲ 17,370	雑費 17,370
支出合計	6,204,200	5,139,927	1,064,273	

収入	5,201,351
支出	5,139,927
	61,424
	3,517,694
	3,579,118
未払金	4,844
前受金	498,000
	1,862,269
	2,219,693

(一般会計収支 ▲267,307 ジュニア会計収支 328,731)

以上のとおりご報告申し上げます。

一般社団法人岡山県トライアスロン協会 事務局

2024年 5月 10日

事務局長

岡 裕史

会計

浮田純子

第16回倉敷ジュニアトライアスロン大会（2023） 決算報告

2024年3月31日

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会

開催日：2023年8月20日（日）

前期繰越金 A 1,533,538 1,533,538 ※2023年3月31日

	第16回大会予算	第16回大会決算	差異	予算備考	決算備考
収入の部					
参加費	1,575,000	1,052,000	-523,000	350名出場として（参加費：4,500円）	エントリー-233名（うちレイトエントリー14名）
協賛金	1,600,000	1,613,538	13,538	14回同様（15回は1,500,000円）	
助成金	-	-	-	OHKスポーツ振興財団（副賞の支給）	
雑収入	-	16	16		銀行利息
収入合計 B	3,175,000	2,665,554	-509,446		

支出の部					
保険	45,000	28,774	-16,226	傷害保険（選手、スタッフ）	
参加賞	280,000	214,984	-65,016	レースナンバー／シール、スイムキャップ	
	150,000	101,673	-48,327	タオル	
	320,000	191,920	-128,080	メダル、盾	
	76,500	80,500	4,000	図書カード	
施設使用料	37,000	15,147	-21,853	児島マリンプール	
設備・リース費用	750,000	600,050	-149,950	テント、コーン、机ほか（DAI）	
計測	510,000	350,240	-159,760	ネオシステム、Web募集を含む	
委託料	120,000	66,000	-54,000	警備業者、無線を含む	
	13,000	-	-13,000	日赤（昼食代として）	食料費へ計上
放送設備	52,400	90,000	37,600	MC、音響施設	
食料費	50,000	61,464	11,464	選手、スタッフ昼食代	
	280,000	156,733	-123,267	選手（エイド）、スタッフ 氷、ドリンク	
印刷費	350,000	283,360	-66,640	ポスター、大会冊子	
送料・通信費	5,000	16,345	11,345	協賛関係のみ支出	
事務用品費	2,000	495	-1,505	ラベル、封筒	
その他	50,000	18,344	-31,656	ボランティアTシャツ	
	79,100	53,954	-25,146	石灰、コーステープ、手旗	青絨毯購入
雑費	5,000	6,840	1,840	振込手数料	道路使用許可
支出合計 C	3,175,000	2,336,823	-838,177		

9,071 10,029 ←1名当たりの経費

単年度収支 D=B-C - 328,731 328,731

次期繰越金 E=A+D

1,862,269

通帳残高と合致していることを2024年3月31日に確認しました。（OTA事務局）



1名当たりの参加賞費用 2,727.27 2,182.73

350名

233名

上記のとおり収支報告いたします。

2024年3月31日

一般社団法人岡山県トライアスロン協会

第16回倉敷ジュニアトライアスロン大会 会計 柘野 佐織



一般社団法人岡山県トライアスロン協会

第16回倉敷ジュニアトライアスロン大会 実行委員長 山下 優



一般社団法人岡山県トライアスロン協会 会長

第16回倉敷ジュニアトライアスロン大会 会長 繁田 政男



特別国民体育大会（鹿児島国体）選手団派遣 決算書

2024年3月31日

（一社）岡山県トライアスロン協会 強化委員会、総務委員会

収入の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
補助金	750,000	676,278	73,722	国体補助（スポ協） 監督2名・選手3名
補助金	-	90,000	-90,000	ハイパフォーマンス支援事業（スポ協）
協会負担	514,120	264,287	249,833	前年度、386,443円
合計	1,264,120	1,030,565	233,555	

支出の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
報償費（日当）	48,000	36,000	12,000	選手（3名×4日×③,000）
	24,000	24,000	-	監督（2名×4日×③,000）
	12,000	12,000	-	コーチ（1名×4日×③,000）
旅費（交通費）	694,120	552,134	141,986	航空券・JR乗車券・特急券（選手・監督6名、コーチ1名）
		366,608		内訳：溝手、丸山、木下、中山（監督・選手）
		77,630		内訳：高橋（選手、和歌山ー徳之島）
		93,896		内訳：河本（コーチ）
		14,000		内訳：リムジンバス（5名）
旅費（宿泊費）	216,000	150,150	65,850	（素泊） ⑩10,010×3泊×5名
	36,000	30,030	5,970	（素泊） ⑩10,010×3泊×1名
需用費	80,000	42,647	37,353	レースウェア1着
	20,000	2,850	17,150	雑費（ガソリン代、送料）
役務費	40,000	52,564	-12,564	自転車輸送費往復3台、上限10,000円補助
使用料及び賃借料	60,000	99,000	-39,000	レンタカー（ハイエース、小型車）
負担金	7,000	6,000	1,000	国体保険料（選手監督コーチ6名×①,000）
	24,000	20,000	4,000	国体参加費（選手監督5名×④,000）
諸手数料	3,000	3,190	-190	支払手数料
合計	1,264,120	1,030,565	233,555	

上記のとおり収支報告いたします。

2024年3月31日

一般社団法人岡山県トライアスロン協会
強化委員長 浅井 祐哉

一般社団法人岡山県トライアスロン協会
総務委員会／事務局長 岡 裕史

1. 派遣者

監督：2名 溝手珠央、丸山彰治
選手：4名→3名 木下遥奈、中山雄貴（ふるさと）、高橋正俊（ふるさと）
コーチ：1名 河本勝成

2. 派遣日程

2023年10月6日（金）～10月9日（月） 選手3名、監督2名、コーチ1名

3. 選手選考について

2023年5月21日（日）予選会開催 エントリー女子2名（1名DQ扱い）、男子3名（1名DNS）
2023年6月7日（水）開催の合同会議にて、予選会の結果を参考に派遣者（監督2名、選手3名）を選考／決定し、
2023年7月2日（日）開催の理事会で最終承認をした。

4. 国体の結果について

成年女子 木下遥奈 49位 皇后杯10点
成年男子 中山雄貴 27位 天皇杯10点
成年男子 高橋正俊 37位

監 査 報 告 書

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会
会長(代表理事) 繁田 政男 殿

私たち監事は、一般社団法人 岡山県トライアスロン協会の規約に基づき、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの監事として監査いたしました。その結果につきまして、次のとおり報告いたします。

監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
事業報告及びその付属明細書は、定款等に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。また、職務の執行に関する不正の行為は、法令もしくは定款に違反するような事実は認められません。
- (2) 会計監査の結果
収入及び支出の計算書類、帳簿、通帳、領収書等を調査した結果、的確にその処理がなされていることを認めます。

令和6年 5 月11日

監事 中尾 信夫 

監事 木村 信一 

2024 年度事業計画(案) **承認**

1. OTA 重点項目(理事会)

トライアスロンがある世の中が、今後も持続し、発展していくため、地方競技団体である OTA(一般社団法人岡山県トライアスロン協会)も持続し発展していかなければなりません。この目的を達成するため、OTA では次の重点目標を掲げ、これを基に各委員会で事業計画を行っております。

(1) 会員数について

会員数の増加につながるイベントを開催し、トライアスロンの魅力を発信する。(2024 年度目標)

会員数を 350 名以上に回復させ、維持をし、協会の運営を安定させる。(3 年以内を目途、中期目標)

(2) 選手強化について

国体成年女子選手 2 名の発掘、育成(2024 年度目標:継続)

ジュニア世代からの選手発掘、強化システムを構築し、国体で入賞できる選手を育成する。(中期目標)

(3) 協会運営について

協会運営組織(各委員会)の活性化を図る。(2024 年度目標:継続)

協会運営組織を次世代への継承し、組織を継続させる。(中期目標)

2. 普及委員会

(1) 県内関係大会開催の状況

6 月2日 国スポ選手選考会(さくらおろちスプリント)

調整中(秋) デュアスロン in しんごう(共催、競技主管)

選手募集 調整中

(公財)OHK スポーツ振興財団の助成(副賞の提供)が決まりました。

8 月 25 日 倉敷ジュニアトライアスロン(主催、競技主管)

選手募集 5 月 1 日～(コロナ前の定員で選手募集)

毎月第3水曜日に実行委員会を開催し、準備を進めています。OTA 会員の方の大会運営スタッフ(ボランティア)を広く募集します。

昨年と同様、(公財)OHK スポーツ振興財団の助成(副賞の提供)が決まりました。

今期休止 倉敷国際トライアスロン大会(競技主管)

ボートレース場の改修工事に伴い今期の開催は見送りとなりました。

(2) おかやまスポーツフェスティバル

岡山県スポーツ協会が主催する、おかやまスポーツフェスティバル(2025 年3月 2 日開催)に出展し、「エアトライアスロン」の体験会(ジュニア世代および保護者を対象)を行い、トライアスロン競技の PR を行います。(岡山県営グラウンド)

(3) スイム記録会・講習会、トライアスロン練習会の計画

例年、倉敷国際トライアスロン大会の初心者講習会も兼ねて開催していたスイム記録会・講習会、トライアスロン練習会について開催を計画します。

(4) なださきレークサイドパークでのイベント計画

2022 年度は開催できませんでしたが、OTA 所属選手の大会出場の機会の創出と、所属審判員の技能向上を目的として、デュアスロン大会の開催を計画します。場所は、なださきレークサイドパークとします。

(5) 新規大会へ向けた取り組み

JTU イベントチームと連携し、新規大会を創設(提案)する取り組みを始めます。興味がある方は事務局までお知らせください。

3. 技術・審判委員会

(1) 審判員の派遣

今年度も以下の通り大会の開催が決定しており、各県団体より審判要請が参っております。県内大会のみならず、県外での活動は審判技能の向上や地域ごとの競技運営方法など多くの学びがあります。要請がある大会には積極的に審判員を派遣しますのでよろしくお願いいたします。

審判派遣要請につきましては審判有資格者に募集連絡を行います。

日程	大会名称等	派遣予定
5/21	アジアトライアスロン選手権2024廿日市(広島県)	8名実施済
6/1	愛南町いやしの郷トライアスロン(愛媛県)	5名
6/2	さくらおろち湖スプリント／中国ブロック選手権／岡山県国体予選(島根県)	5名
6/9	ふくやまかわまちトライアスロン(広島県)	5名
6/16	西日本学生トライアスロン選手権尾道因島大会(広島県)	5名
7/7	サンポート高松トライアスロン(香川県)	5名
7/14	ひわさうみがめトライアスロン(徳島県)	3名
7/14	全日本トライアスロン皆生大会(鳥取県)	5名
8/14	伊予市トライアスロン大会 in ふたみ(愛媛県)	2名
8/18	トライアスロンさぎしま(広島県)	5名
8/25	倉敷ジュニアトライアスロン(倉敷市)	20名
9/1	日本学生トライアスロン選手権観音寺(香川県)	2名
今期休止	倉敷国際トライアスロン(倉敷市)	35名
9/15	今治伯方島トライアスロン(愛媛県)	3名
未定	デュアスロン in しんごう(新見市)	25名
12/8	うさぎやリレーマラソン(倉敷市)	20名
25/3/20	JTU 認定記録会(岡山)	8名

上級の審判資格の取得を目指す方につきましては、技術代表、審判長、チーフ等のポジションでの審判活動が資格認定の条件になりますので、技術・審判委員会にお問い合わせください。

また、上記の他、派遣要請があった大会につきましては随時募集をいたします。

(2) 審判員の育成

認定／更新講習会については、2025年3月2日(日)を計画しています。(更新対象者7名、別途、技術・審判委員会よりご連絡します。) 前項でも記載しましたが、上級資格の取得を希望される方は、委員会宛にお問い合わせください。

このほか、8月中旬(ジュニア大会開催前)にも資格認定講習会を計画しています。ジュニア大会のボランティアスタッフ(OTA 会員)に大会の運営と合わせて、審判活動にも興味を持っていただくことで、大会および OTA 組織の持続につなげていくことが目的です。

近県においてトライアスロン大会が増えており、審判の派遣依頼も増えております。一方、派遣する審判員について、決まった方に偏ってきているのが実情です。今後、審判員の増員(新規:2名ずつ)や上級資格取得(3種→2種、2種→1種および NTO)に向け、多くの方々に経験を積んでいただきたく思っています。OTA 会員の皆様には、ぜひとも積極的な資格取得をお願いいたします。

4. 強化委員会

引き続き、男女ともに岡山県にゆかりのある選手について、発掘を行っております。特に女子国体候補選手の発掘が急務であり、学連登録選手(大学生)、協会新規登録選手等について調査を行い、国体予選に出場するように要請を行っています。

また、選手の強化育成について、指導者委員会と連携し、新たな制度の構築を推進します。

(1) 国スポ代表選手の選考、選手、監督およびコーチの派遣

国スポ予選会は、6月2日(日)に、さくらおろち湖スプリント大会/JTU 中国ブロック選手権に併催します。岡山県代表選手は、基本的にこの大会の成績で決定します。国体予選会が実施されなかった場合は、国スポ予選会に申し込んだ選手の中から、JTU 認定記録会の記録を参考に強化委員会が選考し、理事会・委員会合同会議で決定します。国体監督(JSPO コーチ1資格者)についても、強化委員会が選考し、理事会・委員会合同会議で決定します。

予備登録選手の帯同については別途、強化委員会で協議の上、決定します。また、コーチの派遣については、ハイパフォーマンス支援事業の助成申請(河本コーチを推薦)を行っており、別途、強化委員会で協議の上、決定します。

(2) 強化指定選手制度(OTA)

OTA 独自の強化指定選手制度を創設しております。今年度について、現時点での強化指定選手はおりませんが、国スポ代表選手について、中国ブロック合宿参加費の補助を行っていきます。

(3) オリンピアン育成事業(岡山県)

また、安藤勘太選手(今年度より INPEX 所属)につきましては、昨年度同様、岡山県の補助事業、オリンピック育成事業での強化指定選手に内定しております。

(4) U15、U19 世代の競技継続

U15、U19 世代向けの大会が岡山県内では開催できていませんが、JTU 中国ブロック協議会にて「さくらおろち湖スプリントトライアスロン」を例年 6 月に開催しております。この大会への出場について、OTA 強化指定選手制度を活用して勧奨します。

(5) JTU 認定記録会の開催

2025年 3 月 20 日(木祝)の開催を予定しております。(参加定員 30 名)

スイム OSK スポーツクラブ岡山 プール

ラン 岡山県総合グラウンド陸上競技場／補助陸上競技場

記録に応じて「級」が認定されます。エリート、国スポを目指す方から、ジュニア世代(U8～)、一般の選手の方も出場可能です。自身のレベルを客観的に知り、トレーニングに生かすことができますので、積極的なご参加をお願いいたします。

5. 指導者委員会

(1) 指導できる場所の提供

普及委員会、強化委員会と連携し、指導者派遣事業((3)項)のほか、OTA 所属の指導者が力を発揮できる場所(イベント等)を提供できるよう、計画します。

(2) 指導者の育成

資格保有者のリストの整理を行い、失効者について復活の手続きを奨励していきます。JTU 公認初級／中級指導者については、資格移行(専門科目→コーチ1、アシスタントコーチ)の案内を行っていきます。コーチ1資格者の更新に必要な講習会についても案内を行い、資格者の維持に努めます。

また、新たに創設された、JSPO トライアスロンコーチ 3 についても、選手強化の面と合わせて、中長期的に取得を目指すコーチを指定し、支援できる体制を整えます。

指導者の育成について、岡山県の助成制度(定額)を活用できる場合がありますので、お問い合わせください。(2 月～3 月頃の申請となります。)

(3) 指導者派遣事業(2024 年度中に要項等を整理し可能な限り事業開始)

● 目的

トライアスロンの魅力を普及啓発すると共に競技レベルの向上及び指導者の技術アップを目指す。

● 内容

競技レベルの向上を目指すものが、県協会の指導者の派遣を依頼する。

競技レベルとは、3種目の総合レベルはもちろん、スイム、バイク、ランそれぞれのスキル向上、ウェイトトレーニング、栄養等実地練習及び座学も含めるものとする。

● 事業実施のイメージ

① 指導者の指導可能内容の公開

例:25mから始めるスイム

B&G等のプール及び沙美海水浴場で指導可能

② 依頼者が希望の指導者を選択し、電子メールで県協会へ応募(様式等は検討中)

③ 指導者委員会にてマッチングの上、指導者及び依頼者に連絡

④ 当事者同士が合意の上、指導実施

⑤ 終了後、指導者から指導員会へ報告書の提出

⑥ 報告内容については、抜粋の上公表

● 今後のスケジュール

トライアスロンの魅力を普及啓発すると共に競技レベルの向上及び指導者の技術アップを目指す。

各指導者についての資格等の調査及び更新(資格切れ)の啓発

各指導者への上記事業についてのアンケート調査

本事業に係る規定の作成

報酬等の詳細の決定

(4) JTU トライアスロン専門科目講習会の開催

JTU トライアスロン専門科目講習会について、2024 年 11 月～2025 年 3 月に岡山県で開催する予定としています。開催にあたっては、JTU 中国ブロック協議会・指導者委員会、および JTU と経費面について協議を行い、予算化をしますが、岡山県協会の経費負担は発生しない見込みです。

6. 総務委員会(事務局)

(1) 2024 年度事業

2023 年度事業報告と同様のため割愛します。

(2) 業務改善

総務委員会(事務局)では、協会運営効率の向上、運営コストの削減、また、SDG's への対応の観点から、以下の業務の改善に取り組んでおります。ご理解、ご協力をお願いいたします。

- 印刷物の発送

従来、往復はがきでのご案内(総会)、印刷物の発送(ジュニア最終要項等)を行っていましたが、2022 年度より、電子メールやフォーム入力で代替することを推進しております。

- 旅費、日当のお支払い

従来、現金でのお渡し、銀行振り込みとしておりましたが、各種手数料が高額となってきましたので、QR 決済サービス(PayPay 等)を利用した送金を活用していきます。また、従来は中国銀行の口座のみを使用しておりますが、法人口座でのネットバンキング利用について、月額の使用料が発生するため、ネットバンキングに特化した銀行口座を開設する予定としています。

(3) 協会事務所の移転

協会事務所、倉庫について、2024 年 4 月 1 日付にて、移転しました。郵便物、宅配便等の住所変更については対応中です。

旧住所 〒700-0986 岡山市北区新屋敷町 3-11-3

新住所 〒700-0986 岡山市北区新屋敷町 3-5-15

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 2024年度予算 (案) 承認

会計期間：2024年4月1日～2025年3月31日

収入の部		支出の部			
会費 (JTU登録費込) 262名見込み (別紙)	1,063,000	大会費用	200,000	倉敷国際トライアスロン大会	-
				デュアスロンinしんごう	150,000
				なださき関連事業	50,000
		ジュニア大会費用	3,175,000	倉敷ジュニアトライアスロン大会	3,175,000
		事務費	30,000	名刺・文具・印刷代等	30,000
県スポ協補助金 強化費補助金 ハイパフォーマン スポーツフェスティ バル 国体旅費	113,000 40,000 - 350,000	備品費	35,000	Webサーバーレンタル代	20,000
				事務所消耗品等	15,000
		通信費	38,620	電話代(事務局携帯電話)	34,000
				郵送代(総会関係は電子化)	4,620
県補助金 オリンピック育成事業	150,000	賃借料	96,000	家賃	96,000
				電気代(家賃に含む)	-
				水道代	-
主催事業収入 記録会(30名) 練習会、講習会等 審判講習会 デュアスロン大会	400,000	審判旅費・日当	218,000	県内大会 しんごう、JTU認定記録会	58,000
				県外大会 愛南、はつかいち、高松、皆生、ひわ ご、さざしま、中土佐等	110,000
				中国ブロック選手権派遣(審判能力向上)	50,000
		役員旅費・日当	20,000	開催者会議・ブロック会議等	20,000
主管料 大会運営協力金 (倉敷リレーマ ラソン) (しんごう)	280,000	租税公課	80,000	法人市民税(50,000円)	50,000
		諸手数料	5,000	登録免許税(住所変更)	30,000
		会議交際費	30,000	振込手数料等	5,000
賛助会員会費	-	登録費分担金	422,200	総会関連(印刷費)	5,000
				理事会・委員会同会議ほか会場費	5,000
				各種交流会等参加費、慶弔費	20,000
		主催事業経費	192,000	岡山県体育協会分担金	65,000
				JTU中国ブロック選手権大会分担金	50,000
				JTU会費	198,000
				JTU社員分担金	50,000
				JTU中国ブロック協議会会費・分担金	59,200
				SWIM記録会・練習会・審判講習会等開催費	82,000
				JTU認定記録会	50,000
				おかやまスポーツフェスティバル	35,000
				倉敷リレーマラソン(大会運営)	25,000
ジュニア大会 参加費(350名)	1,575,000	選手強化経費	1,029,180	ドラフティング講習会等	50,000
				強化指定選手(合宿参加補助)	63,000
				国体派遣費(選手4名、監督2名、コーチ1名)佐賀県	766,180
ジュニア大会 協賛金	1,600,000			オリンピック育成事業(安藤勘太)	150,000
小 計	5,571,000	小 計	5,571,000	年度収支	0
前期繰越金	3,579,118	次期繰越金	3,579,118	※繰越金には災害対策費150,000円(原資：JTU義援金)を含む。	
合 計	9,150,118	合 計	9,150,118		

2024年度予算について

- 収支の差異がない予算となっています。
- 会費収入予算(【別紙資料⑤-1】)、倉敷ジュニア大会の予算案(【別紙資料⑤-2】)、国体派遣の予算案(【別紙資料⑤-3】)は別紙のとおりです。
- 国体トレーナーの派遣費用については、ハイパフォーマン支援事業の申請を行っています。
- 次期繰越金(見込み)3,579,118円(うち、150,000円は災害対策費)については、今後も、OTAの運営のため必要と判断する場合は取り崩しますが、一部は定期預金としておくことも考えております。
- 倉敷ジュニアトライアスロン大会事業の収益、および経費を組み入れておりますので、OTA予算規模が大きくなっております。
- 法人化を維持するための経費として、法人市民税(50,000円/年)、登録免許税(住所変更30,000円)を計上しています。
- 収支(ほぼ収入)の改善に向けて
会員数の確保が第一に必要です。350名程度の一般会員の確保が当面の目標になります。
魅力ある岡山県トライアスロン協会に進化していく必要があります。(会員サービス、選手強化など)
会費収入以外の収入源の確保が必要です。(新規大会の開催、大会運営協力金、賛助会員) 特に、今まで受け取れていなかった、大会主管料、開催協力金については、今後、各大会事務局に申し入れを行っていくこととします。
JTU認定記録会において、出場選手の確保を行う必要があります。(目標30名)

2024年度会費予算案

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	55	1,000	55,000	4,000	220,000
一般継続	85	1,000	85,000	3,000	255,000
団体新規	30	500	15,000	4,000	120,000
団体継続	86	500	43,000	3,000	258,000
高校生	0	300	－	1,200	－
中学生	0	100	－	900	－
小学生	0	100	－	400	－
審判限定	6	－	－	2,000	12,000
合計	262		198,000		865,000
					1,063,000 JTU+協会

第17回倉敷ジュニアトライアスロン大会（2024）

予算案承認

2024年4月17日

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会

開催日：2024年8月25日（日）

前期繰越金 A	1,862,269	※2023年3月31日
---------	-----------	-------------

	第17回大会予算	第17回大会決算	差異	予算備考	決算備考
収入の部					
参加費	1,575,000			350名出場として（参加費：4,500円）	
協賛金	1,600,000			14回同様（15回は1,500,000円）	
助成金	-			OHKスポーツ振興財団（副賞の支給）	
雑収入	-				銀行利息
収入合計 B	3,175,000				

支出の部					
保険	50,000			傷害保険（選手、スタッフ）	
参加賞	370,000			レースナンバー／シール、スイムキャップ	
	180,000			タオル	
	200,000			メダル、盾	
	80,500			図書カード	
施設使用料	25,000			児島マリンプール	
設備・リース費用	700,000			テント、コーン等（DAI）、レンタカー	
計測	462,000			ネオシステム、Web募集を含む	
委託料	79,200			警備業者、無線を含む	
	13,000			日赤（昼食代として）	
放送設備	90,000			MC、音響施設	
食料費	120,000			スタッフ昼食代	
	280,000			選手（エイド）、スタッフ 氷、ドリンク	
印刷費	300,000			ポスター、大会冊子	
送料・通信費	20,000			協賛関係のみ支出	
事務用品費	20,000			ラベル、封筒	
その他	50,000			ボランティアTシャツ	
	125,300			石灰、コーステープ、その他資材	
雑費	10,000			振込手数料、道路使用許可	
支出合計 C	3,175,000				

9,071 - ←1名当たりの経費

単年度収支 D=B-C	-	-
-------------	---	---

次期繰越金 E=A+D

-

1名当たりの参加賞費用	2,727.27	-
	350名	名

SAGA2024 国民スポーツ大会 選手団派遣 予算 ~~(案)~~ **承認**

2024年3月31日
(一社) 岡山県トライアスロン協会 強化委員会、総務委員会

収入の部				
科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
補助金	350,000			国体補助(スポ協) 監督2名・選手4名
補助金	40,000			ハイパフォーマンス支援事業(スポ協)
協会負担	376,180			前年度、264,287円
合計	766,180			

支出の部				
科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
報償費(日当)	72,000			選手・監督(6名×4日×@3,000)
	12,000			コーチ(1名×4日×@3,000)
旅費(交通費)	160,440			JR乗車券・特急券(選手・監督6名)
	26,740			JR乗車券・特急券(コーチ1名)
旅費(宿泊費)	198,000			(素泊) @11,000×3泊×6名(選手・監督)
	33,000			(素泊) @11,000×3泊×1名(コーチ)
需用費	90,000			レースウェア2着
	20,000			雑費(ガソリン代、送料)
役務費	40,000			自転車輸送費往復4台、上限10,000円補助
使用料及び賃借料	80,000			レンタカー(ハイエース、小型車)
負担金	7,000			国体保険料(選手監督コーチ7名×@1,000)
	24,000			国体参加費(選手監督6名×@4,000)
諸手数料	3,000			支払手数料
合計	766,180			

1. 派遣者
監督：2名
選手：4名
コーチ：1名 河本勝成
2. 派遣日程
2024年10月4日(金)～10月7日(月) 選手4名、監督2名、コーチ1名
佐賀県唐津市波戸・名護屋特設会場
3. 選手選考について
2024年6月2日(日) 予選会開催(JTU中国ブロック選手権／さくらおろちスプリント)

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会
2023～2024 年度役員および、2024 年度各委員会組織 ~~(案)~~

承認

理事会（2023 年～2024 年）

理 事	繁田	政男
理 事	丸山	彰治
理 事	芳谷	治
理 事	岡	裕史
監 事	中尾	信夫

総務委員会（事務局）

委員長	岡	裕史
委 員	白川	卓司
委 員	溝手	珠央
委 員	柘野	佐織（ジュニア会計）
委 員	浮田	純子（会計）

普及委員会

委員長	木南	達昭
委 員	田中	泰志
委 員	藤井	弘文
委 員	山下	優一
委 員	國部	浩孝
委 員	白川	卓司
委 員	佐山	公明

技術・審判委員会

委員長	永田	茂浩
委 員	溝手	珠央
委 員	長谷川	博三（しんごう）
委 員	森田	直道（しんごう）
委 員	宗定	敏文
委 員	芳谷	治

強化委員会

委員長	浅井	祐哉（国スポ）
委 員	岡本	崇
委 員	木南	達昭
委 員	河本	勝成（トレーナー）
委 員	丸山	彰治

指導者委員会

委員長	木南	達昭
委 員	白川	卓司（指導者講習会）
委 員	山下	優一
委 員	岡	裕史

※委員長、委員には重複しての配置があります。

※O T A 運営の円滑化のため、委員の配置、増員につきましては、随時見直します。

監事

監 事	中尾	信夫
監 事	太宰	信一（外部）

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会

大会会長	繁田	政男
大会副会長	田中	泰志
実行委員長	山下	優一
事務局	岡	裕史

J T U中国ブロック協議会（2023 年～2024 年）

理 事	丸山	彰治
理 事	溝手	珠央
理 事	木南	達昭（アンチドーピング委員会）
委 員	芳谷	治（技術委員会）
委 員	河合伸一郎	（メディカル委員会）
委 員	永田	茂浩（審判委員会）
委 員	浅井	祐哉（学生委員会）

公益財団法人岡山県スポーツ協会

評議員	繁田	政男
-----	----	----

公益社団法人日本トライアスロン連合

社 員	繁田	政男
-----	----	----

(1) 日本トライアスロン連合設立 30 周年記念のご挨拶

日頃よりトライアスロンの普及と発展に多大なるご支援を賜り心からの御礼を申し上げます。

さて、公益社団法人日本トライアスロン連合(以下 JTU)は、今年、設立から 30 年の節目を迎えます。この競技が日本に導入された 80 年代前半には、81 年の鳥取県皆生温泉での日本初の大会や複数の団体や同好会ができる中、85 年にはストロングマン宮古島とアイアンマンジャパン琵琶湖でロングディスタンス大会、そして後にオリンピック実施距離となった 51.5 キロのジャパントライアスロンシリーズ天草国際大会が誕生しました。

この年に、世界・米国との連携を基盤とした日本トライアスロン連盟(以下 JTF。会長:長嶋茂雄)、翌 86 年には、日本トライアスロン協会(以下 JTA。会長:清水仲治)が設立されました。JTA は複合耐久種目全国連絡協議会(84 年)から全国トライアスロン協議会(85 年)を経た団体です。

その後、両団体は、1989 年に国際トライアスロン連合(ITU)設立に合わせ、統一団体に向けた日本トライアスロン委員会(JTC)を設置し ITU へ加盟しました。

この数年間で国内トライアスロン界の大同団結を合言葉に全国統一への準備が進み、1994 年 4 月 16 日に東京都内で設立総会が開催されました。これにより、日本にトライアスロンが導入されてから 14 年を経て、日本のトライアスロンを代表する団体である JTU が発足しました。

全国の都道府県のトライアスロン団体を代表する社員による設立総会では、理事・監事が選任され、初代会長には国際オリンピック委員会(IOC)委員であった猪谷千春氏が選任されました。また、名誉会長には清水仲治氏(旧 JTA 会長)と長嶋茂雄氏(旧 JTF 会長)がそれぞれ就任しています。

JTU 設立の 94 年は、2000 年シドニーオリンピックでのトライアスロン競技正式採用が、IOC パリ総会(10 月)で決まるというメモリアルな年となりました。

今年、設立から 30 年目を迎え、私たちは「トライアスリートのために!」という基本理念をさらに向上させるために、各種事業を展開してまいります。

2024 年度から、米国や欧州のトライアスロン先進国と同様に、JTU 主催・共催・後援大会に参加するすべての都道府県・学連登録会員のために「トライアスロン安全保険」を付与する新たなチャレンジを始動しました。

今後もトライアスロンに関わる皆様とともに、新時代に向けた競技環境を整備し、国際的友好の促進に努めてまいります。これら国内外での活動がスポーツを通じた国民の健康と福祉に貢献し、地域の振興に寄与できるよう日々邁進する覚悟です。

2024 年(令和 6 年)4 月 16 日
公益社団法人日本トライアスロン連合
岩城 光英

(2) 2023 年 JTU エイジナショナルチャンピオンシップシリーズ(SD/SP/LD)の表彰について

以下の選手が入賞し、表彰されています。表彰状は別途送付いたします。

LD	2 位	杉山謙心	岡山	男子	35-39 歳
LD	4 位	山内光春	岡山	男子	40-44 歳
SD	5 位	矢吹和也	岡山	男子	40-44 歳
SD	2 位	高橋泰夫	岡山	男子	55-59 歳
SD	4 位	田村絹子	岡山	女子	75-79 歳
SP	4 位	中西啓一	岡山	男子	75-79 歳